

## 洗浄施設の類型分けについて

### 1. 業分類での類型分けの適否について

論点：業種ごと(取扱製品ごと)に類型分けを行うべきか、否か。

類型分けの方法(案)	メリット	デメリット
<b>案1:</b> <b>業種ごと(取扱製品ごと)に類型分けを行う</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各業種の状況を反映させる場合には有効</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄という同一の行為を行うほぼ同一施設を区別して扱うこととなり合理的でない</li> <li>同一の施設で多様な製品の洗浄を行う場合があり、あらかじめ業種を特定することは困難</li> <li>業種間の公平性を判断することは困難</li> </ul>
<b>案2:</b> <b>業種ごと(取扱製品ごと)に類型分けを行わない</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗浄という同一の行為に対し同一の取扱いができる</li> <li>現行の大気汚染防止法においても同様の取扱いがなされている(例:ボイラー、廃棄物焼却炉、ディーゼル機関)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各業種の状況を反映させることが必要な場合は困難</li> </ul>

## 2. 施設の形態別の類型分けの方法について

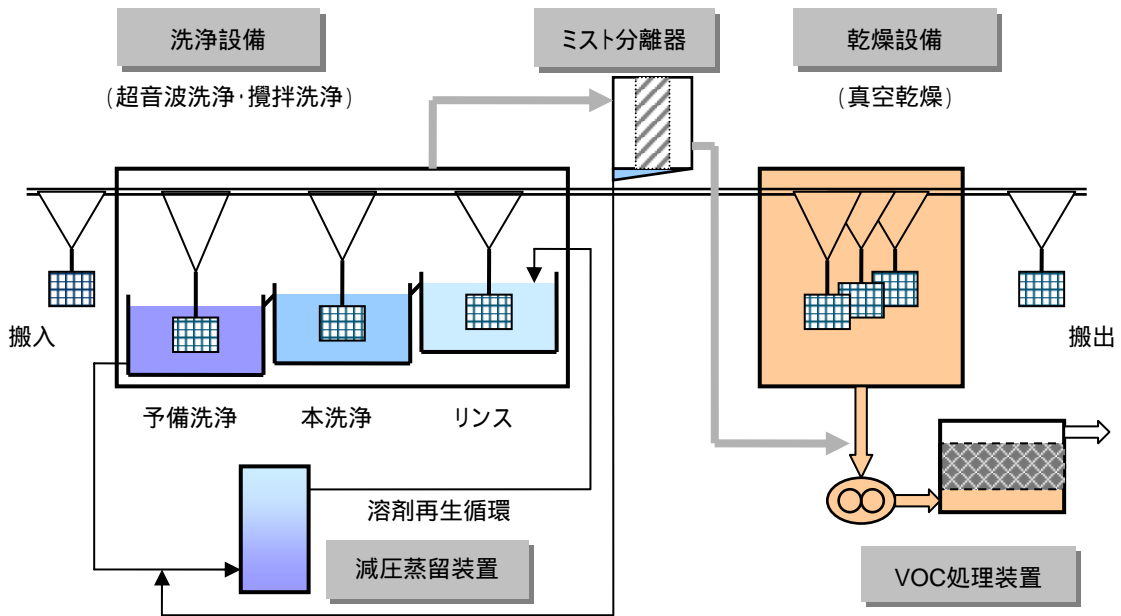
論点: VOC排出の特性の違いを踏まえ、施設の形態別の類型分けを行うことが必要と考えられるが、どのような形態別に類型分けを行うことが適切か。

施設の形態別の類型分けの例	製品別の事例
乾燥施設	電気機械器具 . . . . . 圧延後の鋼板 . . . . .
洗淨施設 (乾燥施設が一体となっているものを含む)	電気機械器具 . . . . . 電気メッキ . . . . . 圧延後の鋼板 . . . . . 自動車部品 . . . . .

[参考] 各工程の例 (第2回小委員会資料より抜粋)

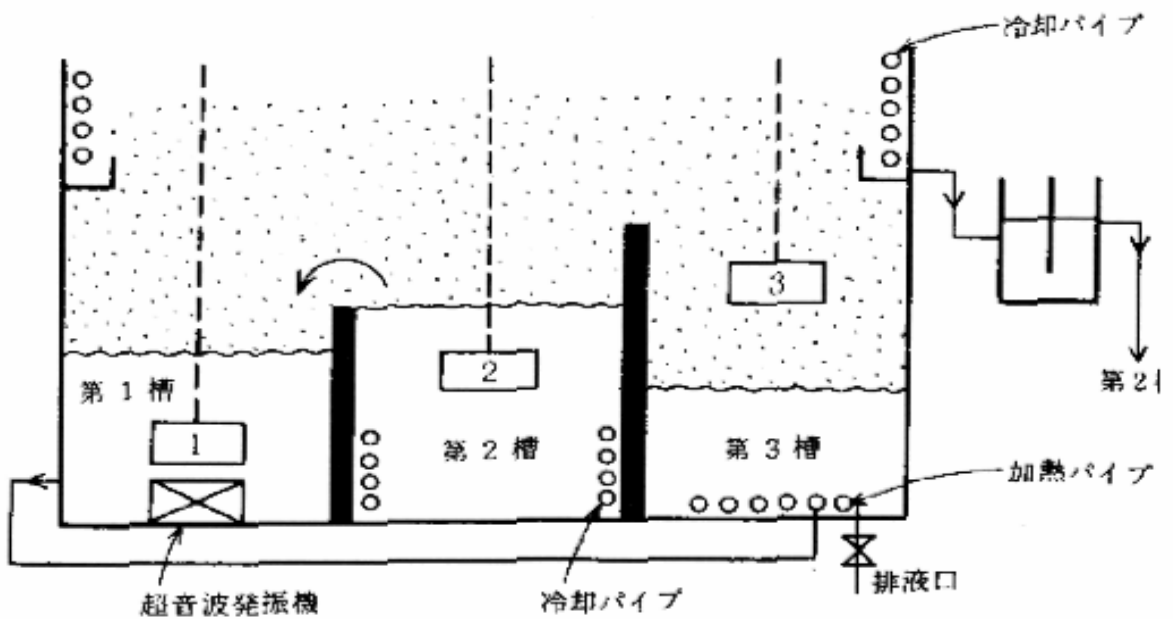
[洗浄及び乾燥工程の例]

### 電気機械器具



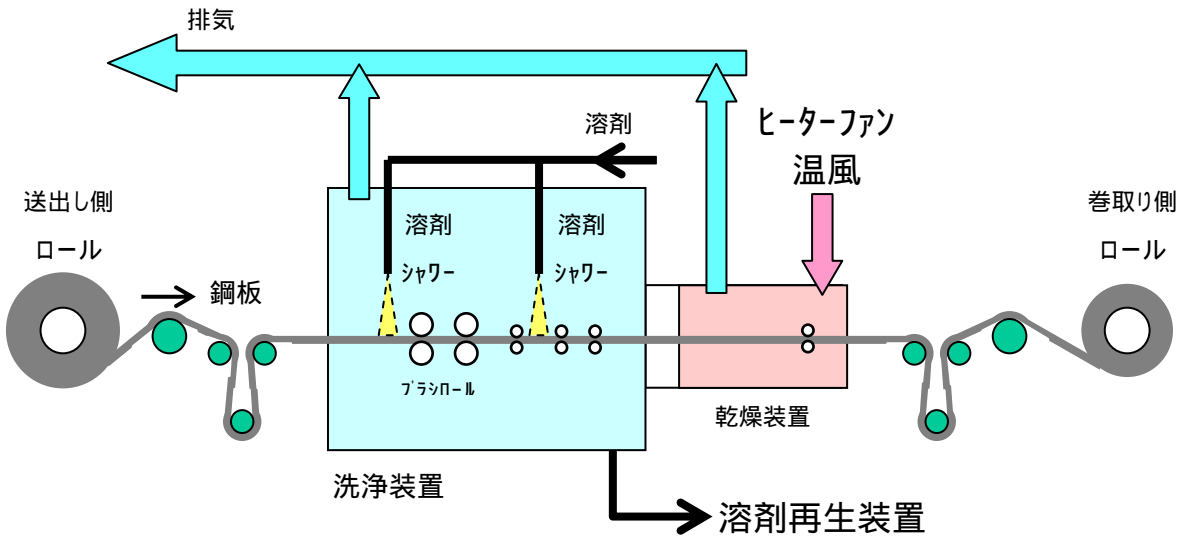
(関委員発表資料)

### 電気メッキ



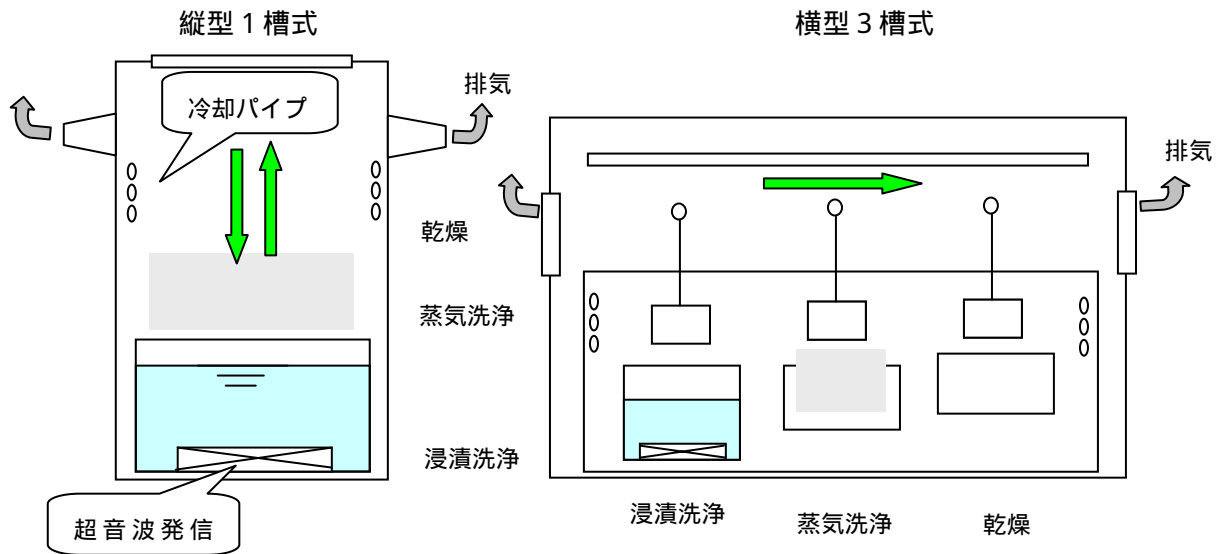
(武田委員発表資料)

### 圧延後の鋼板



(橋本委員発表資料)

### 自動車部品



(林委員発表資料)